

知床五湖地区における取組の進捗状況

トピック

1. 知床五湖利用適正化計画が改定され、ヒグマ活動期における適正な範囲での利用者の増枠（ほぼ終日 10 分間隔でのツアー出発）、限定的な 2 ルート併用という新制度の運用が開始された。
2. 知床五湖におけるヒグマ活動期におけるヒグマ出没回数は例年並みであり、6 月 30 日までの遭遇回数は 7 回（うちツアー中止判断 2 回）（前年 7 回（うちツアー中止判断 2 回））であり、ヒグマ活動期間中の地上遊歩道の立入者数は登録引率者を除き 4,056 名（6 月 30 日時点前年比 16%増、前々年比 36%増）であった。
3. 開園から 5 月 9 日までの植生保護期は、積雪のため 4 月 25 日まで地上遊歩道は閉鎖であった。4 月 26 日から小ルート（一・二湖周回ルート）のみの運用を開始し、期間中の地上遊歩道の利用者は計 1,876 名（前年比 731%増）であった。

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・平成 26 年 4 月 18 日から知床五湖利用調整地区制度が運用中である。
地上遊歩道の利用者は 5 月 10 日から 6 月 30 日までのヒグマ活動期に 4,820 名（登録引率者を除き 4,056 名、前年比 16%増、前々年比 36%増）、開園の 4 月 20 日から 5 月 9 日の植生保護期に 1,876 名（前年比 731%増）、両期間を合わせて計 6,696 名（前年比 54%増）であった。
- ・制度期間中のヒグマ遭遇による地上遊歩道閉鎖は、ヒグマ活動期（5 月 10 日から 6 月 30 日まで）に 7 回（前年度 10 回）あり、ヒグマ起因による地上遊歩道の終日閉鎖日は 0 日間（前年度 0 日間）であった。
- ・制度期間中の知床五湖駐車場の利用車両台数は、乗用車 11,402 台（前年同期比 16%増）、バイク 335 台（前年同期比 36%増）、マイクロバス 52 台（前年同期比増減なし）、大型バス 1,310 台（前年同期比 16%減）（開園～6 月 30 日）であった。

※上記の値は、現時点での速報値であり、今後の精査の結果修正される可能性があり得る。

2. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

●第 32 回協議会：平成 26 年 4 月 24 日

- ・平成 25 年度中に議論を行った第 2 期知床五湖利用適正化計画の報告及び当該計画に基づく平成 26 年度ヒグマ活動期の運用計画についての説明を行った。

<平成 26 年度のヒグマ活動期の運用について>

- ・大ルート（五湖周回ルート）：概ね 10 分間隔の出発（10:00～13:20 は 20 分間隔）
- ・小ルート（一・二湖周回ルート）：6・7 月限定で、10:00、12:00、14:00、16:00 の 1 日 4 本の出発

- ・指定認定機関の平成 25 年度収支報告・審査部会の会計報告を行った。
- ・平成 26～27 年度の知床五湖の利用に係る全体スケジュールの説明を行った。
 - ・平成 26 年度は 10 月 13 日をもって知床五湖は閉園とし、駐車場の拡張整備を行う。
 - ・駐車場整備は 2 ヶ年にわたり、平成 26 年度は土工事までとし、平成 27 年度のGW後に舗装処理を行う予定。

3. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・平成 25 年 3 月 21 日～5 月 1 日まで平成 26 年度の登録引率者新規募集を行い、3 名が応募。養成研修を実施中。
- ・平成 26 年 4 月 23・24 日に登録引率者シーズン前研修を実施し、利用適正化計画、既登録者向け研修カリキュラム等についての説明・確認を行った。

4. その他の事項

- ・平成 26 年 8 月 1 日～10 月 20 日において、ヒグマ活動期の地上遊歩道利用者を対象に、協賛店舗で立入認定証を提示すると特典サービスを受けることができる「くまレク見てトクキャンペーン」を実施予定（昨年度の取り組みを拡充）。